

R8.4.3 研修参加者アンケートのまとめ

A:本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

【園関係者】

1.小学校での具体的な実践が非常に参考になった

- ・小学校での実際の授業・手遊び・グループゲームなどの具体的実践が印象的で、園でも取り入れることができそうだと感じた。
- ・授業の進め方(子どもの興味を引き出す工夫、話の広げ方・つなげ方)が素晴らしく、参考になった。

2. スタートカリキュラムの理解が深まり、導入方法が参考になった

- ・スタートカリキュラムでの運用では、園での導入と似た点があることを理解できたり、実践する上での工夫が学べたりした。
- ・「先生が全て決める」のではなく、「子どもの意見を聞くことで主体性が育つ」ということが印象的だった。

3. 園と小学校の連携(園小接続)の重要性と計画的な接続の必要性

- ・園と小学校の教職員が情報交換・交流することで、子どもたちの安心感づくりや共通理解が進み、円滑な接続につながると感じた。
- ・スムーズに学校生活に慣れることができるよう、つながりを意識した計画作りが重要だと感じた。

4. 子どもの主体性・安心を重視した教育の再確認

- ・「安心の先に成長がある」との考えを再認識し、安心を基盤に子どもの意欲や主体性を育てることの重要性を改めて感じた。
- ・手遊びなどから数や学びにつなげるなど、遊びを経て学びへ結びつける工夫が印象的だった。

【小学校関係者】

1.子どもと「ともに創る」学びの重要性

- ・「子どもたちと創っていく」という考えが強く印象に残った。
- ・子ども自身がやりたいこと見付け、主体的、意欲的に進めていく探究的な学びの大切さや、教師が一方向的に与えるのではなく子どもと共創する姿勢が大切だと感じた。

2. 園と小学校の連携・学びの継続性

- ・園と小の積極的な交流によって子どもが安心して学べる環境をつくる必要性を再認識した。
- ・園での具体的な活動を「学校生活にどう生かしていくか」を考え直していくことの重要性を感じた。

3. 教室・環境づくりと安心感の重視

- ・子どもが安心して過ごせる教室や環境づくりを最優先に取り組みたいと思った。
- ・小学校が、入学してくる子どもたちにとって魅力ある場所であるかを見直す機会になった。

4. 実践的な手法とスタートカリキュラム運用時のグループ中心の活動の価値

- ・手遊びや学習へのつなぎなど具体的な実践例が参考になり、もっと知りたいと思った。
- ・個人ではなくグループでの話し合いや活動を進めることの重要性、授業以外の面でも学びをつなぐ指導の工夫が必要であることを実感した。

B:本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

【園関係者】

1. 子ども主体の探求できる保育の推進

- ・「やってみたい」「もっとしたい」という子どもの意欲を尊重し、まず子どもの声に耳を傾けていきたい。
- ・全てを先に提供するのをやめ、選べる素材や時間を用意して子どもの選択・探求を促していきたい。
- ・グループ活動を年間を通して取り入れ、協同や対話の中で学びを深めたい。

2. 興味関心を丁寧に広げ深める援助と自己決定の育成

- ・自分で考える機会を多く設け、自己決定できる力を育てる関わり方をより考えていきたい。
- ・子どもたちの興味関心を広げていくことで、学びにつながっていくよう援助していきたい。

3. 保育と小学校(就学)をつなぐ連携と教材研究

- ・歌や手遊び、身体を使う活動など、小学校にもつながるということが分かったので継続して保育に多く取り入れていきたい。
- ・就学に向けて必要な生活習慣やスキルを、遊びを通して楽しく伝えるために教材研究を継続していきたい。

4. 安心できる環境づくりと職員の姿勢(楽しむ保育)

- ・スキンシップや安定的な関わりの中で「安心」を基盤にし、小学校同様、早期に新環境に慣れることができる支援を工夫していきたい。
- ・「厳しくする」より「一緒に考える」対話的な関わりを心がけ、職員も楽しむ姿勢を大切に保育を進めていきたい。

【小学校関係者】

1. 子どもに「聞く」姿勢を徹底する

- ・日常の場面でまず子どもの声を聴き、「どうなりたいか」「何をしたいか」を一緒に考える時間を確保していきたい。
- ・「何でも聞く」雰囲気をつくり、子どもが安心して発言できる環境を整えたい。

2. 自己決定・主体性を育てる学級運営

- ・子どもが選び・決め・実行する機会を増やし、自己決定できる活動を増やしていきたい。
- ・グループゲームや話し合い活動を4月当初から継続的に導入し、協働や対話力を育てていきたい。
- ・「教えない」指導の意味を検討し、子どもの思考や探究を促す関わりを工夫していきたい。

3. 園との連携・スムーズな接続

- ・園での経験・活動とつながる学習や生活場面を意図的に取り入れ、子どもがスムーズに学校生活に慣れることができるようにしたい。
- ・昨年度の取組をブラッシュアップして活用していきたい。
- ・保護者が安心できる情報提供や相談機会を設け、家庭との連携も深めていきたい。

4. 安心して楽しく学べる環境づくり

- ・教師も子どもと一緒に楽しむ姿勢で活動に取り組み、安心感を基盤にした学級づくりを行っていきたい。
- ・子どもが「毎日学校に行きたい」と思える雰囲気づくりを目標に、実践と振り返りを繰り返していきたい。